

愛車協だより10月号

令和 6年10月10日 発行
愛知県自動車車体整備協同組合
発行責任者:正 治 博 史

愛車協HP・QRコード



特認工場部会研修会

9月26日(水) 14:00より、愛知県自動車会館5階第1会議室において特認工場部会研修会を開催しました。特認工場部会員18名が出席し、中部運輸局自動車技術安全部から森本裕史部長、山口智也整備課長、成澤悟整備課専門官をお招きしました。



金原部会長の開会の挨拶に続いて、森本部長の挨拶がありました。今回は、「自動車整備士資格者制度改正による自動車車体整備事業者の対応について」および「優良自動車整備事業者(車体整備作業)の責務と役割について」をテーマに、成澤専門官が講師を務め、特認工場部会員は熱心に聞き入っていました。その後、質疑応答があり、閉会の挨拶として平岩理事長が車体整備事業者の思いを述べられました。

教育委員会及び特認・推奨工場部会合同研修会 開催のお知らせ

11月20日(水) 13:30から、愛知県自動車会館5階第1会議室において第44回研修会を開催する予定です。

研修のテーマは、以下3項目です。(都合により変更になる場合があります)

1 封印の取り扱いについて 2. 車体整備事業者のガイドラインについて 3. 化学物質規制について
この研修は今後の車体整備事業者にとって重要な内容になっていますので、この機会を逃さず出席いただければ幸いです。

開催のご案内については、近日中にメール等によりお知らせします。

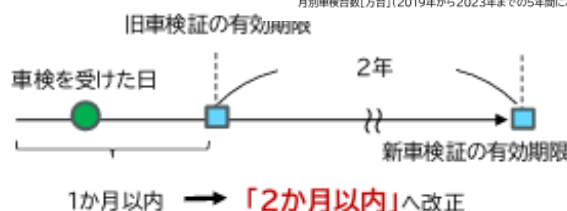
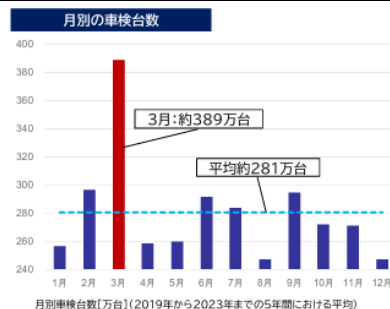
来年4月より、車検を受けられる期間が延びます

【現行】

車検の有効期限前1か月以内に受検すると、新車検の有効期限を旧車検の有効期限から2年間とすることができる。

【改正後】

車検の有効期限前2か月以内に受検すると、新車検の有効期限を旧車検の有効期限から2年間とすることができる。



詳しくは国土交通省HPでご確認ください。

https://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha02_hh_000645.html

特定整備工場の申請状況

特定整備工場制度開始に伴う取得済工場数は、9月末現在愛知県全体で3,970工場（愛整振情報）が電子制御装置整備を取得しており、愛車協組合員（136社）の取得社数は次のとおりです。

- ① 整備主任者等資格取得講習者数：147人
- ② 電子制御装置整備認証取得者数：120社
- ③ ②の内電子制御装置整備のみの取得者数：25社



自動車車体整備養成講習開講

令和6年度の教育事業の一環である車体整備士養成講習が小牧教育センターにおいて10月16日(水)に開講します。受講者は、28名（内訳：愛車協組合員6名、組合員外22名）になりました。

講習期間は翌年3月2日までの延べ22日間となっています。

座学は小牧教育センターで実施し、実技は来年2月から（株）三光社において実施します。



岡崎支部懇親会



岡崎支部（近藤支部長）は9月14（土）19時から岡崎ニューグランドホテルにおいて恒例の懇親会を開催しました。当初は屋上ビアガーデンで開催する予定でしたが、あいにくの空模様のため、室内のレストランでの開催になりましたが、岡崎支部員16名と賛助会員6名の参加で、天気をものともせず大変盛り上がりました。

事務局からのお知らせ

愛車協事務局では、収集ボランティアの活動を行っています。

使用済み切手を収集し「愛知県福祉協議会ボランティアセンター」へ送付することにより、切手業者や愛好家への販売により換金し、国内外の様々な福祉に役立てられています。

障がい者の理解促進活動、自然環境保全、発展途上国の保健医療の援助や、各種施設の建設資金等その目的はさまざまです。

日々の生活の中で、気軽に始めることができるボランティア活動です。一人が集める量が少なくても、多くの人が参加する事で大きな支援につながります。興味のある方は、以下 HP をご覧ください。

【愛知県福祉協議会ボランティアセンター <http://aichivc.jp/volunteer/collection.html>】



余談

ようやく酷暑がおわり、朝夕は涼しく、まだ暑い日もありますが上着の素材にも気を遣わなければいけない季節になってきました。10月といえば何が思い浮かぶでしょうか？ 食欲の秋、月見、ハロウィン、色々ありますが、10月の行事・イベントといえば、運動会や体育の日が浮かびます。最近では5月に運動会を行う小中学校も増えてきましたが、私にとって運動会といえばやはり体育の日がある10月です。さて、運動会でよく使われる定番のクラシック音楽ですが、聴いたことはあるが曲名までは知らないという方も多いかもしれません。徒競走向きのクラシックとしては、オッフェンバックの喜歌劇「天国と地獄」より「カンカン」、そしてヘルマン・ネッケ作曲の「クシコスポスト」です。曲を聴けばすぐわかると思います。皆さんも、この秋を楽しみながら、素敵な音楽と共にたくさんの思い出を作ってください。